

# 回避策：スイッチは IP アドレスを割り当てるとき SSH 接続を失います

## 目標

スイッチへのアクティブ SSH セッションがデフォルト IP アドレス 192.168.1.254 によって進行中ならおよび割り当てれば VLAN インターフェイスの静的 IP アドレス ( デフォルト VLAN から離れて 1 ) は、アクティブ SSH 接続失われます。これはスイッチの他のどの VLAN インターフェイスの IP アドレスも割り当てれば発生します。この技術情報は VLAN IP 割り当てに回避策を与えます。

## 適当なデバイス

200 シリーズ スイッチ

220 シリーズ スイッチ

250 シリーズ スイッチ

300 シリーズ スイッチ

350 シリーズ スイッチ

500 シリーズ スイッチ

550 シリーズ スイッチ

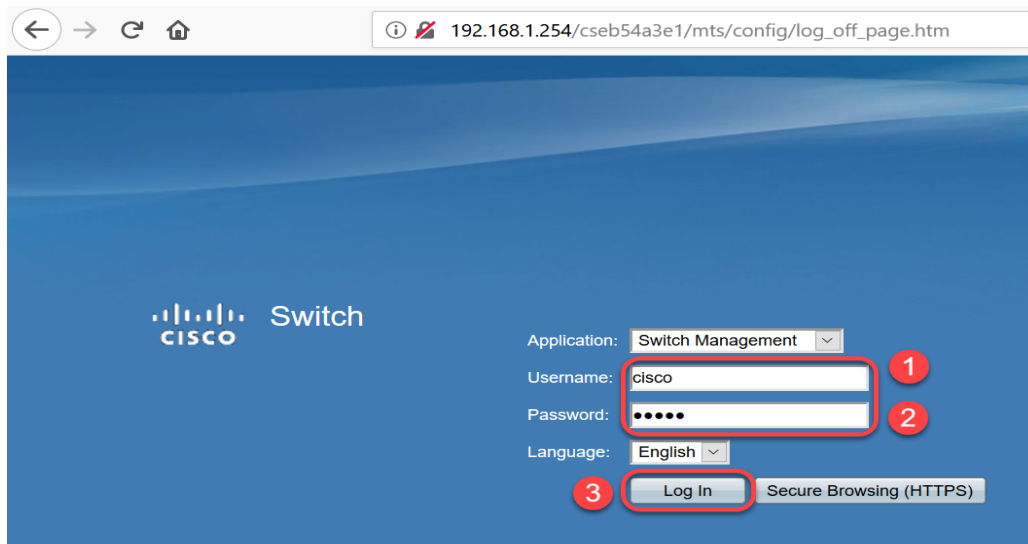
## [Software Version]

- 2.5.0.83

## SSH を有効にし、スイッチ ステータスを確認すること

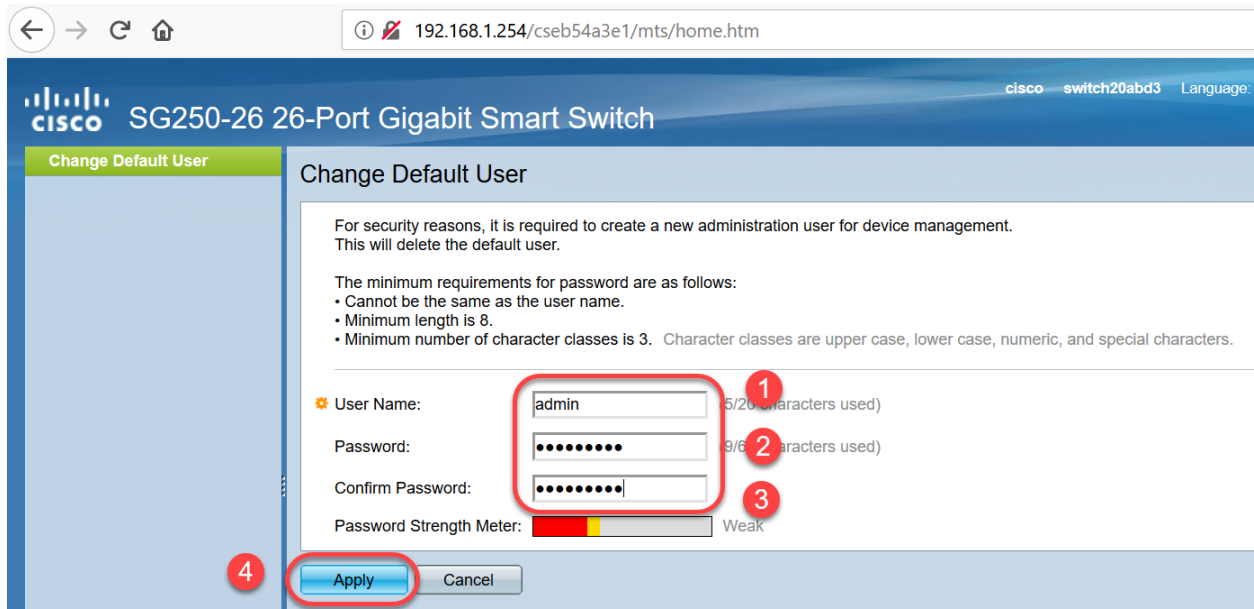
これがスイッチを起動する初めてではない場合ステップ 3.にスキップして下さい。

ステップ 1.電源投入 デフォルトのユーザ名およびパスワードの使用による Webブラウザによるスイッチへの新しいスイッチおよびログイン。

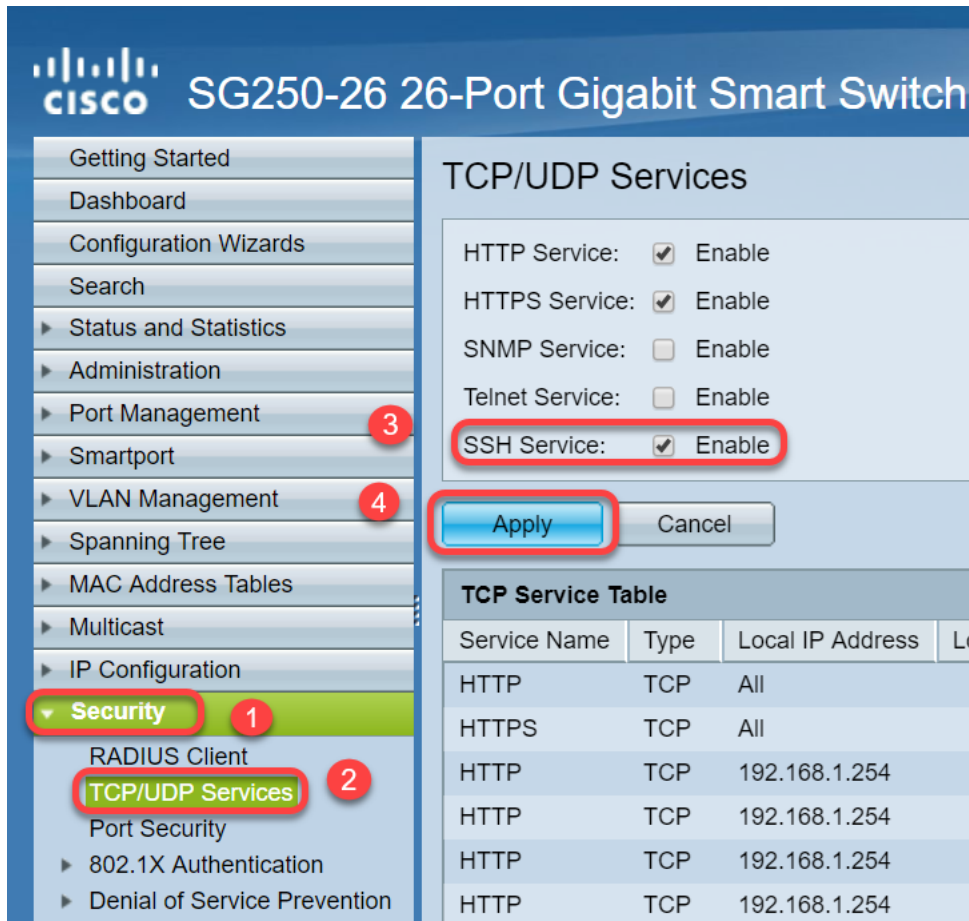


注: 最初ブートにデフォルトのユーザ名およびパスワードは cisco/cisco です。

ステップ 2.デフォルトのユーザ名およびパスワードを変更して下さい。[Apply] をクリックします。



ステップ 3 メインメニューが開いたら、> TCP/UDP サービス 『Security』 をクリックして下さい。このページ読み込みがスイッチの SSH を有効にすれば。[Apply] をクリックします。



ステップ 4. SSH によるスイッチへのログイン、PuTTY を使用するために選択しました。

注: 学ぶために [SMB にアクセスする方法を SSH が Telnet によって、ここをクリックします切り替えて下さい。](#)

ステップ 5 ファームウェアの詳細を表示する、スイッチが利用可能なファームウェアバージョンにアップデートされるかどうか確認するために、次のコマンドを入力して下さい。

注: スイッチの最新版ファームウェアを使用するために推奨します。最新版ファームウェアをダウンロードするために、[ここをクリックして下さい。](#)

ステップ 6 スイッチの VLAN の設定についての情報を表示するために、次のコマンドを入力して下さい:

```
switch20abd3#show vlan
Created by: D-Default, S-Static, G-GVRP, R-Radius Assigned VLAN, V-Voice VLAN

Vlan      Name      Tagged Ports      UnTagged Ports      Created by
-----
1         1         gil-26,Po1-4      DV
```

ステップ 7 IP インターフェイスについての情報を表示するために、次を入力して下さい:

```
switch20abd3#show ip interface
```

IP Address	I/F	I/F Status admin/oper	Type	Directed Broadcast	Prec	Redirect	Status
0.0.0.0/32	vlan 1	UP/UP	DHCP	disable	No	enable	Not receiv ed
192.168.1.254/24	vlan 1	UP/UP	Default	disable	No	enable	Valid

前述のコマンドの使用によって、インターフェイスの現在の IP アドレス設定を表示し、新しい VLAN インターフェイスの新しい IP を割り当てることについて決定できます。

## 例：VLAN および IP アドレスを割り当てる方法の作成

注: 下記はステップ SSH セッション ロスの例です。最後のコマンドを入力する場合、VLAN1 に IP アドレスがないし、すべてのスイッチポートがまだ VLAN1 に割り当てられるのでスイッチにアクセスを失います。

直接回避策ステップにスキップするために、[ここをクリックして下さい](#)。

ステップ 8 スイッチの特権EXECモードから、次のコマンドの入力によってグローバル コンフィギュレーション モードを開始して下さい:

```
User Name:admin  
Password:*****
```

```
switch20abd3#configure terminal
```

ステップ 9: スイッチの VLAN 2 を設定するために、次を入力して下さい:

```
switch201bd3 (構成) #vlan 2
```

```
switch20abd3#configure terminal  
switch20abd3(config)#vlan 2
```

ステップ 10: VLAN 2 インターフェイスを管理するために、次を入力して下さい:

```
switch201bd3 (構成) #interface VLAN 2
```

```
switch20abd3#configure terminal  
switch20abd3(config)#vlan 2  
switch20abd3(config)#interface vlan 2
```

ステップ 11: VLAN 2 インターフェイスの IP を設定するために、次を入力して下さい:

```
switch201bd3 (config-if) #IP アドレス 192.168.2.254 255.255.255.0
```

```
switch20abd3(config)#interface vlan 2  
switch20abd3(config-if)#ip address 192.168.2.254 255.255.255.0
```

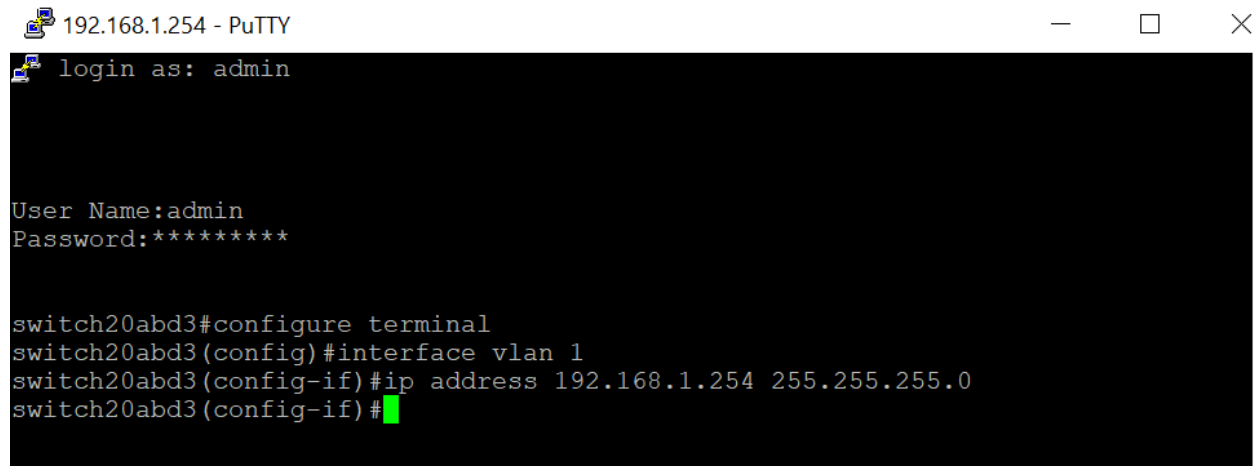
## 回避策：SSH セッションの損失の防止

VLAN 1 インターフェイスに静的IP アドレスを割り当てることによって、IP アドレスを VLAN 2、3、4 先祖などに割り当てた場合 SSH 接続を維持します

別の VLAN インターフェイスの IP に割り当てるのが次を行うことができる間、VLAN 1 からの接続を失うことを避けるため:

ステップ 1. VLAN 1 の静的 IP アドレスを設定する下記のコマンドを順に入力して下さい。

—  
—  
—



```
192.168.1.254 - PuTTY
login as: admin

User Name:admin
Password:*****

switch20abd3#configure terminal
switch20abd3(config)#interface vlan 1
switch20abd3(config-if)#ip address 192.168.1.254 255.255.255.0
switch20abd3(config-if)#
```

注：このポイントから IP アドレスを自由に割り当てられます。

ステップ 2. VLAN 2 を作成し、その IP を割り当てるために下記の述べられたコマンドを適用して下さい。

—  
—  
—  
—  
—  
—  
—

```
192.168.1.254 - PuTTY
login as: admin

User Name:admin
Password:*****

switch20abd3#configure terminal
switch20abd3(config)#vlan 2
switch20abd3(config)#interface gi2
switch20abd3(config-if)#switchport mode access
switch20abd3(config-if)#switchport access vlan 2
switch20abd3(config-if)#exit
switch20abd3(config)#interface vlan 2
switch20abd3(config-if)#ip address 192.168.2.254 255.255.255.0
switch20abd3(config-if)#
switch20abd3(config-if)#
```

注: 上述の例では、gi2 によってスイッチにそして接続されたら接続を失います。

ステップ 3. ( オプションの ) 次のコマンドの使用によって今スイッチの VLAN 及び IP アドレスを確認できます。

```
192.168.1.254 - PuTTY
login as: admin

User Name:admin
Password:*****

switch20abd3#configure terminal
switch20abd3(config)#interface vlan 1
switch20abd3(config-if)#ip address 192.168.1.254 255.255.255.0
switch20abd3(config-if)#
```

## まとめ

VLAN1 への損失接続なしで今正常に別の VLAN インターフェイスの IP を割り当てました。マネジメント目的でスイッチの VLAN 1 インターフェイスの静的な IP を割り当てることは有用です。